

第 1 回検討会議のグループ別意見交換における主な論点と整理課題のまとめ

< Aグループ >

〇〇委員、〇〇委員、〇〇委員、〇〇委員、〇〇委員（進行）（五十音順）

- ・施設の立地場所をどこにするかが大切。市民みんなが行きやすい場所を考えるべき。
- ・複合化を前提（機能ごとに施設を複合化する方法など）
- ・他に市民が求めている機能としては温浴施設がある。
- ・留萌市の中心について、市民がどこに居住しているかも含めて拠点はどこなのか検討してほしい。
- ・施設が一か所にあり、バスでアクセスできることが大切。
- ・駅周辺は津波や洪水の浸水区域となっている。なぜそこに拠点をつくるのか議論が必要。浸水しても大丈夫なのかどうか、施設の作り方も含めて示す必要がある。
- ・施設整備がまちのさまざまな課題解決につながる青写真も必要。
- ・駅前にバスターミナルをつくるのがよいのか。どこにつくるべきかについても議論すべき
- ・お金を稼げる施設も誘致すべき（企業誘致の話ともからめて）。
- ・検討会議だけでなく、市民ワークショップなどを開いて、若い人や女性の意見など幅広く聞くことが重要。（検討会議メンバーの横のつながりも活用）
- ・ワークショップの運営は行政ではなく民間（市民）にまかせて、自由闊達な意見交換ができるようにすべき。

< 主な論点と整理課題 >

- ・立地場所(市民の行きやすさ、津波、洪水区域エリアの課題)
- ・複合化が前提(機能ごと)
- ・まちの中心、まちの拠点の再認識
- ・バスターミナルの適切な立地場所の検討
- ・商業施設など、お金を稼げる施設の誘致
- ・ワークショップの開催(若い人、女性などの参集と民間主体での運営)

< Bグループ >

〇〇委員、〇〇委員、〇〇委員、〇〇委員（進行）、〇〇委員（名簿順）

- ・体育館と文化施設を無理やり一緒に作る必要はない。
- ・社会教育施設の配置についても、飲食店街との連携を考えていくのかどうか。
- ・バスターミナルがない。都市間バスは中央バスと沿岸バスで違う場所から出ているので、そういったバス乗り場が社会教育施設の近くにあったらいい。この規模の街にしては、非常にバスの使い勝手が悪い。道路基盤は整っており、高速道路も札幌とつながっているが、多くの場所に停まるので時間が非常にかかる。JRがなくなった後はバスを第一に考えるべき。

- ・駅がなくなるならバスターミナルが必要。公園をどう使うか、そのときには道の駅構想も出ていた。副港との連動という議論もあった。そういうことまで含めて考えた方がいい。
- ・公民館かスポーツセンターのどちらかは現地（跡地）建替えでもいいのではないか。

<主な論点と整理課題>

- ・複合化が前提(体育館と文化施設の機能は別)
- ・中心市街地(飲食店街)と社会教育施設の配置、連携
- ・バスターミナルの必要性、駅(廃止)の代替性
- ・駅、道の駅・公園、副港も含めた連動(まちづくり)
- ・現地での建替の可能性

<Cグループ>

〇〇委員、〇〇委員、〇〇委員、〇〇委員、〇〇委員（進行）（五十音順）

- ・場所を考える際には洪水や津波について考慮
- ・駅前に居住する立場からは、駅周辺地区への立地に賛成。
- ・バスなど交通の便について考えていった方が良い。
- ・留萌は港と駅で栄えてきた経緯があり、(留萌線が廃線となりそうな中で) 新たなまちの玄関口として駅周辺地区が良い。
- ・社会教育機能を持つ施設を整備するならば、外でマーチングの練習をするなど船場公園の有効活用の可能性もある。
- ・駅前周辺地区に立地する場合、駅側にスポーツセンターがあれば、船場公園を活用できるので便利
- ・留萌には、コンベンション施設がない。大規模イベントの想定も必要
- ・高齢者がアクセスしやすく、利用しやすく、集まりやすい施設とすることが望ましい。サロンの機能を導入することも考えられる。

<主な論点と整理課題>

- ・津波、洪水区域エリアの課題
- ・駅周辺地区での優位性の発揮(新たなまちの玄関口)
- ・社会教育機能と船場公園との連携、有効利用の可能性
- ・コンベンション機能の必要性、大規模イベントの想定
- ・高齢者のアクセス、利用しやすさ、施設機能(サロン)

<Dグループ>

〇〇委員、〇〇委員（進行）、〇〇委員、〇〇委員、〇〇委員（五十音順）

- ・今回の検討会議でのテーマはどこまでか、（あくまでも社会教育施設について、もしくは街全体の未来を考えた上での討論なのか）を決める必要がある。
- ・テーマをどこに置くべきなのか、着地点を定める必要がある。
- ・話の根幹には、どのようなまちづくりをしていくのかという事
- ・目指すべき街の姿（目標）があれば検討できるがそこがないと難しい。
- ・まちづくり全体を考えると、今回の議題である、社会教育施設の話ではなく、もっと大きな視点で考えなければならない。
- ・コンパクトシティにするにしても、ただ駅前に施設を集中させるだけではなく、ビジョンを市に検討してもらわないといけない。建てて終わりでは意味がない。
- ・多目的に作ると無目的になる可能性もある。この町はこれ。というテーマを持つことも重要である。
- ・交流人口も考えながら、検討していかなければならない。
- ・まちづくりのためにはバスターミナルと組み合わせるなど、複合的に検討していく必要を感じる。今後 20 年、30 年後の話については、今回の参加者が使うというより、若年層や主婦層、子育て世代の意見をもっと組み込めることが望ましい。アンケートを幼稚園や保育園の保護者に配布して回答してもらうことも考えられる。
- ・将来的に市役所の建て替えや移転の話は避けられないのだから、この機会と一緒に複合化する方が、むしろいいのではないかと感じる。
- ・社会教育施設のみでの複合化ではなく、そこに市庁舎機能も含めた複合化が望ましい。市役所にも子育て世代はたくさんいるのだから、そこに保育園等も併設することができれば、素晴らしい複合化になると思う。また、小さい病院が一緒にあってもよい、複合化により効率的で使いやすい施設を作る事が重要。

<主な論点と整理課題>

- ・テーマの持ち方(まちづくり全体のビジョン、目標を設定してから施設配置を検討)
- ・複合化(バスターミナル、市庁舎、保育施設、医療施設など)
- ・交流人口も念頭
- ・若年層、主婦層、子育て世代の意見などの集約